

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●	「企業理念」は当社会社案内及びHPに明記。 役職員は「安心安全新鮮な青果物を提供する」という責任感使命感を持って取り組んでいる。									8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●	就業規則に「服務心得」を定め、法令順守事項を周知している。																		16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●	就業規則「服務心得」に「誠実義務違反・反社会的・迷惑・不正行為等の禁止」を定め役職員へ周知している。												10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●	当社の事業活動は誰もが必要とする「食」と密接に繋がっており、持続可能な農産事業が社会、環境に好循環をもたらすべく全社一丸で取り組んでいる。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●	就業規則「服務心得」に「情報管理及び保護関係」事項を定め、役職員へ周知している。									8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●	個人情報は保管場所を定め、管理者が施錠可能な場所に施錠保管している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●	生産者、農協、市場、小売店等との密な情報交換、商談により、最終ユーザーとなる消費者へ大きな負担がかからぬよう、最大限の配慮を行い適切に対応している。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●	生産者、市場、各JA等からの出荷集荷から、当社センター内管理、小売店納品に至るまでの各事業間、担当者間の業務リレーに障害が生じぬよう規律を持った対応を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	事業継続計画(BCP)を策定し中小企業庁より認定されている。									9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●	後継者を責任者として2023年5月に東京事業所を開設。事業所の運営を通じ経営実務に従事し事業承継に備えている。								8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●	雇用、昇進、登用、福利厚生面などで差別なく対応している。また、ハラスメントについて相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	産業医と連携し、定期的巡回訪問を実施。又、年1回のストレスチェックを行い不調者の早期把握、状態改善に取り組んでいる。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	賃金規定に沿い、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	業務の再分配により特定部署に偏らない業務改善の取組を実施。又、子育て世代、介護等による柔軟な勤務時間選択可能な規則を検討している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	能力開発の場として、会社より数名を指名し外部研修に派遣するなどし研修の機会を提供している。			4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	「計画年休」制度を定め、連続5営業日の有給休暇取得を推奨。従業員の心身のリフレッシュや生産性向上に継続して取り組んでいる。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	システム管理室の設置を経て、業務システム改良を実施。情報の蓄積、業務効率化へ改良を継続していく。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	ZOOM会議の定着化が図られ、遠隔地得意先との会議省力化が図られている現状を継続維持する。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	業務システムのWEB化により、遠隔地からの自己端末からの処理を可能としている。更に利用効率化アップを図っている。								8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	令和3年プライト企業登録、令和6年更新。			3	4				8	9		12								

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		自社から排出される「廃棄物」「有害物質」は産廃処理業者に委託し適切に処理していると共に、毎年、熊本市へ「産業廃棄物リサイクル計画書」を提出している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気使用量の最大値を設定し、最大値超過時にはアラームにより使用量抑制を知らせ、エネルギー使用料削減の把握に取り組んでいる。社内証明についてはLED証明を使用し電力省力化に取り組んでいる。						7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		LED照明、節電、室内温度設定の他、事務所内には20鉢以上の植物を配し、温室効果ガス排出抑制に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		気候変動による農産物への影響は大きく、種苗会社が研究する品種改良農産物の取扱い拡大に取り組んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ゴミ排出時には、リサイクルされるダンボールは再生利用できるよう分別して排出している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		取引先の関連団体「水とみどりの愛護基金」活動に積極的に参加し、熊本の水資源保護活動に取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		自社内で使用されるコピー用紙は「森林認証ラベルPEEC」認証商品を使用。プリンターのトナーもリサイクルを推奨している。						9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		当社社員食堂では出荷除外された商品を利用、規格外商品は社員への販売など食品ロスに取り組んでいる。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		法人所有の土地に樹木、花を配し、緑化活動を行っている。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植て、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		取引先が主催する「植樹ツアー」に毎年参加。森林整備活動への見聞拡大に取り組んでいる。				6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●									9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		産地訪問による農作物の生育品質状況確認、残留農薬検査、加工食品の細菌検査等を定期的に実施し安全性や品質の確保に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		包装資材商品在庫の整理整頓を常に心がけ、作業しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		熊本県内を産地とした農産物を生産者、各地域農協から仕入れ、県内スーパーへ販売している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		子供食堂や近隣地域行事への物品寄付、地域清掃への参加等、積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防火管理責任者を設置している。 委託業者に6ヶ月毎の消火設備点検を行っている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		協力を行っている子供食堂から実施の都度(週1回)、写真入りの実施報告があり、実施状況含め全社員に報告書の回覧を行い貧困、飢餓に対する啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場連携授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		例年、近隣中学校の職場体験受け入れを行い、地域での職場の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		県内新卒者採用、中途採用を行っている。それに伴い、30歳未満の若年層には借上社宅制度を制定し、定着化に取り組んでいる。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		近隣中学校の職場体験を通じ、農産物を扱う田崎市場で見学含む流通の説明などを行い、教育に取り組んでいる。	2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15	17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。